



No.114

# 窓の市政

## 「早期収束を願う」

本町通り商店街が発行する、来年の八重垣神社祇園祭のカレンダーは従来の趣とは異なり、10町内各町の年番時の最高の場面が写真で飾られており、祇園祭の盛況感がページをめくるたびに伝わってまいります。

これも、コロナ禍により、本市最大の行事である神輿の連合渡御が中止となったため、関係者のご苦労により作成されたものでありましょう。

年末は、誰もが一年を総括し、成果と反省を踏まえ、来年の抱負や期待に胸を膨らませるもので

すが、今年は、世界すべての人々が新型コロナウイルス感染症に振り回された年であり、今も、第3波が猛威を振るっており、収束のめどはたまたず、来年もさらなる予防策を講じていくことになるでしょう。

新薬やワクチンの開発が、急ピッチで進められているとの報道がされており、希望者すべてが接種できるようになるにはまだまだ先のように、来年の早期収束を全世界が乞い願っています。

特に日本においては、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催の有無に大きな影響をもたらします。東京オリンピック・パラリ

ンピックの開催が決定した時の感動、そして大会の成功裡に向け準備してきた苦勞が報われるためにも、世界に先駆けて予防対策に取り組んでいかねばなりません。

社会経済活動の停滞、日常生活での自粛を余儀なくされており、子どもたちも生活面、教育・保育面での規制を被り、長くつらい一年であったことでしょう。

子どもたちの年末最大の楽しみは、なんといつでもサンタクロースからのプレゼントだと思えます。

今年、例年以上に笑顔がはじけるようなプレゼントが届きますことを願っております。

匝瑳市長 太田安規

## 飯高を歩く 檀林とキツネ

匝瑳探訪 175



稲荷社に奉納されているキツネ

明治の初めに飯高檀林が廃止され140年余りが経ちました。廃檀時には多くの施設が取り壊されましたが、その後まつられたものに、講堂に向かつて左側の赤い鳥居の稲荷社があります。

昔、檀林に全国から集まった学僧の中に1匹のキツネが化けて紛れ込んでいました。ある時、高いびきをかいて寝ているところを見つかってしまいい、檀林を離れることになりました。友達が別れを惜しみご馳走を送り出してくれましたが、酔ったキツネが目覚ますと、そこは林の中で、土産にもら

ったすしだけ本物であったといひます。

稲荷社には、このような伝説があります。

この話は明治30年代後半に飯高寺が発行した『開運古能葉稲荷大明神の由来』という縁起書にあり、筆者も目にしたこ

とがあります。「橋門伝八」という白キツネはこの中に登場し、伝八はこの由来から生まれました。

『八日市場市の沿革と人物』(昭和32年刊)にこの縁起と伝説「橋門伝八」が掲載されています。

飯高寺総門から参道を進むと、飯高城当時の空堀があり、そこに橋の門がかかっています。キツネはその下に住みついていたので、橋門の名が付いたとされます。

赤い鳥居をくぐると正面に祠があり、その手前に神の使いのキツネが奉納されています。

これは1906(明治39)年に飯高村などの20人が寄進し、当時は毎月22日の縁日と、4月と10月に大祭が行われ信者にぎわったとされます。

鳥居の左側に奉納された絵馬が掲げられ、晩秋の境内には散策を楽しむそれをガイドする人たちの姿が見られました。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

岡秘書課広報広聴班

☎73・0080

# 文芸コーナー

## 短歌

依知川雅一 推薦

秋深み柿の葉ひとつまたひとつ

あまた散り敷く路地のかたえに 宇野とし子

娘の仕事テレワークとなり帰郷する

弾みとなりて断捨離はかどる 伊藤 英子

秋の陽にすすきの穂波キラキラと

波間のように風になびきぬ 古谷由美子

遠き日に泊まりし家も人は去り

庭のいちじく蜂の飛び来る 大木 洋一

庭の木に見覚えのある尾羽ふり

深まる秋にじょうびたき来る 鈴木 知子

柚子の木で黄色に変わる実を見つつ

こんなご時世季節変わりか 小川 一夫

亡き父のホームの部屋に残されし

タクシー代の千円札よ 鈴木 志子

川口城司 推薦

幼子の浜辺を駆ける後追ひて

母も裾衣をおさへて走る 渡辺 重雄

湯あがりの夫を拭へばけふ一日

無事につとめを終へし心地す 稲葉 雪子

## 俳句

高安せい子 推薦

朝日さす母屋のほひ冬が来る

厨ごと済ませて仰ぐ十三夜 大川 宣子

大木の伐られし寺や紅葉濃し

侘助や人気なき方向きて咲く 安藤 建子

手ふれてこぼるる色や秋桜

よろよとウッドデッキにいぼむしり 椎名 晴江

小鳥達木の実ポリポリ御礼鳴き

光瀬甲江子 高木 芳夫

土葬墓地さびれて燃ゆる曼珠沙華

雷雨去り丸くて大きいお月様 伊藤 定子

鬼胡桃利根を流れて九十九里

須貝 玉枝 春日 政彦

## 川柳

勝又康之 推薦

老犬が爺ちゃん引いて散歩する

痴話げんか犬も食わぬを猫が食べ 佐久間美智子

街は今多彩なマスク目を凝らす

岡田けい子 江波戸京子

掌に乗った仔猫が同い年

椿 謹二 老夫婦あれこれこれのこと足りる

横断にマスクかけずに人が避け

鶴澤 澄子 安藤 幸恵

川口城司 推薦

今年柿皆大当たりうち以外

石田 津

## 力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-12198 匝瑳市八日市場ハ793番地2  
☎73-0080 FAX72-1114

## 図書館だより

図書館ホームページはコチラ  
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…3日(木)・毎週月曜日 ●年末年始休館日…29日(火)～1月3日(日)  
☎八日市場図書館☎73-3746 (17時まで)

### 資料の寄贈について

「本を処分したいけれど、もったいないから図書館に寄贈しようかな」——。申し訳ありませんが、図書館では寄贈を受け入れできないものがあります。汚れや破損などがあるもの、出版年から5年を過ぎた資料、百科事典、雑誌、漫画、参考書、ビデオやDVDは受け入れできません。寄贈を受け入れる資料は、市民の著作物や匝瑳市に関する資料、予約の多い本です。不明な場合は、お持ちいただく前にお問い合わせください。

### のさか図書館をご利用ください

のさか図書館の蔵書数は、約3万5000冊。八日市場図書館では所蔵していない本もあります。また、八日市場図書館では貸し出し中でも、のさか図書館で貸し出しできる場合があります。ぜひ、のさか図書館に足を運んでみてください。

### おはなし会はお休みします

「おはなし会」は当面の間お休みします。再開は、図書館ホームページでお知らせします。

## おすすめの本

『リアルサイズ古生物図鑑 新生代編』  
土屋健/著 技術評論社

サンタクロースのソリを引くメガロケロス・ギガンテウス、和室でくつろぐスミロドン、ホルンに間違われるアツリア・ヨコヤマイ…。現代の風景に紛れ込んだ古生物をお楽しみください。古生代編、中生代編もどうぞ。

『クリスマスマーケットのふしぎなよる』  
たなか鮎子/作 講談社

クリスマスマーケットに出掛けた男の子ヨハンは、ツリーのてっぺんから落ちてしまったお星さまを助けることに…。ヨハンはお星さまを元に戻すことができるのでしょうか。